

会 議 要 旨

会議の名称	平成29年度 第1回川越市上下水道事業経営懇話会
開催日時	平成29年 7月21日(金) 10時30分 開会 ・ 11時40分閉会
開催場所	川越市上下水道局庁舎 2階会議室
座長氏名	座長 石井晴夫
出席者(委員)氏名 (人数)	委員(副座長) 佐野勝正、新井正司、町田明美、近藤繁樹 鈴木美智子 計6名
欠席者氏名 (人数)	0名
出席職員 職氏名	上下水道事業管理者 福田司 上下水道局長 石井隆文 副局長兼給水サービス課長 円城寺実 副局長兼事業計画課長 桑原善行 参事兼総務企画課長 瀬尾幸久 参事兼財務課長 近藤正広 水道課長 小林一秀 下水道課長 橋本明宏 上下水道管理センター所長 堅木和美 事業計画課副主幹 松田勝 <事務局> 総務企画課 副課長 福田英一、副主幹 米山隆、 主査 千村英夫、主任 高梨義久、主事 牧野夏美
会議次第	1 開会 2 管理者挨拶 3 委員自己紹介 4 職員紹介 5 議題 (1) 座長及び副座長の選出 (2) 川越市上下水道事業経営懇話会について (3) 川越市上下水道事業の概要 6 その他 7 閉会

配布資料	<ul style="list-style-type: none">・川越市上下水道事業経営懇話会委員名簿・川越市上下水道事業経営懇話会要綱・川越市上下水道事業経営懇話会の傍聴に関する要領・資料 1 川越市上下水道事業経営懇話会について・資料 2 川越市上下水道事業の概要・川越市水道ビジョン・川越市水道ビジョン 平成 2 7 年度フォローアップ・川越市上下水道事業中期経営計画・川越市上下水道事業中期経営計画 平成 2 7 年度報告書・平成 2 7 年度 水道事業年報・平成 2 7 年度 下水道事業年報
------	---

議 事 の 経 過	
発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	<p>「1 開会」から「4 職員紹介」まで次第のとおり進行 会議については、原則公開であることを各委員に了承を得ました。 事務局より、当日の傍聴者がいないことが報告されました。</p>
	<p>5 議題</p>
	<p>(1) 座長及び副座長の選出 選出方法については、各委員に意見を求めた上で、指名推薦で行うことが決定されました。 委員から石井委員を座長に、佐野委員を副座長に推薦する発言があり、両委員に了解を得た上で、候補者を除く全委員の総意で決定されました。</p>
	<p>(2) 川越市上下水道事業経営懇話会について 事務局より説明</p>
	<p>(3) 川越市上下水道事業の概要 事務局より説明</p>
座長	<p><質疑応答> 第1回目ということもあるので、事務局の説明にとらわれず、自由な意見交換をしたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>上下水道局では公営企業会計を採用しているとのことですが、現金主義と発生主義を両方採用しているという理解でよろしいですか。</p>
事務局	<p>上下水道局は、発生主義を採用しています。なお、市長部局では現金主義を採用しています。</p>
委員	<p>最近、湧水についてメディア等で取り上げられていますが、説明を聞いてさほど心配しなくてよいと感じました。</p>
事務局	<p>今日より、県から市への送水が4%制限されていますが、この程度であれば自己水源（地下水）で賄えますので、今のところ市民への影響は有りません。</p>
委員	<p>合流式と分流式はどのような違いがありますか。また、雨水につ</p>

	<p>いても上下水道局の管轄ということによろしいですか。</p>
事務局	<p>一つの管で汚水と雨水を一緒に流して終末処理場で処理する方法を合流式といいまして、別々の管で雨水を川に、汚水を処理場へ流す方法を分流式とといいます。市で最初に下水道が整備された中心市街地は合流式ですが、後期に整備された地域は分流式です。</p> <p>また、雨水処理も上下水道局で取扱っている業務のひとつです。</p>
委員	<p>雨水については、公共下水道会計の決算には記載されますか。</p>
事務局	<p>記載されます。次回に決算の話を用意していますが、会計は公共下水道事業として処理しています。原資としては、汚水が基本的に使用者から（受益者負担）で、雨水が市長部局から繰入金（公費負担）としています。</p>
座長	<p>旧市街地では、下水道管を作る時に、雨水と汚水をわける余裕も技術もない中での布設であったため、合流管になってしまったという状況といえます。</p>
委員	<p>排水溝の費用は上下水道局で負担するものですか。</p>
局長	<p>公共下水道用の施設ではありますが、同時に道路の構造物でもありますので、市長部局と調整しながら進めております。</p>
座長	<p>柵、公共下水道に流れ込んでくるものに関しては、工事費も公共下水道となります。</p>
委員	<p>一人あたりの一日の配水量が多いような気がします、一般家庭でそこまで量が出るものですか。</p>
事務局	<p>企業や施設等への配水分も含む総配水量を、単純に給水人口で割っているため、一般家庭の平均とは異なってきます。</p>
座長	<p>工場等の産業用の配水も含んでいるものですね。</p>
委員	<p>公共下水道事業以外のくみ取りなどについては、どの会計で取り扱っていますか。</p>
事務局	<p>環境部等別の部局で取り扱っています。</p>

委 員	くみ取りは県が直接対応をしているのですか。
事 務 局	市で行い、旧滝ノ下終末処理場の一角でし尿処理施設を保有しています。
委 員	井戸水だけを利用している市民は何人くらいいますか。
局 長	市内に数十人程度で、世代交代等により減少傾向にあります。
委 員	施設更新（耐震化、改築）事業の進捗と予算の関係について実情を教えてくださいと思います。
局 長	更新時期を迎えている管路等の施設が多くあるのは認識しています。予算の平準化も考慮しながらですが、理想としている更新速度にするにはなかなか事情が許さないところです。
座 長	他の市も耐用年数が過ぎている施設も多く、耐震化や改築工事も進めなくてはいけないが、予算が少ない中でなかなか進まないのが実情。国の方もピッチを上げなくてはと考えていると思います。
局 長	川越市も耐震化事業を進めているところですが、県の事業体の平均を若干下回っています。先ほどもお話しましたが、もう少し進めて行きたいが、事情が許さない状況です。
副 座 長	埋設してしまうと管の状況を確認できません。耐用年数を過ぎた管は、破裂の可能性も高まり大きな問題になってくると考えます。将来的には料金体系についても考えないといけないと思います。
事 務 局	料金についても、最終的にはお話ししたいと思っています。
委 員	水道以外にも電気やガスのライフラインがあるが、工事が別々に行われている印象があります。地中に一元化し管理すればコストの削減にもなると思います。
座 長	共同溝の話ですね。
局 長	布設工事については、無駄を最小限に抑えるため関係機関と毎年占用会議にて調整を行っています。また、共同溝については、関係機関が多いこともあり検討する段階にまで及んでいません。

座 長	6 その他 今後のスケジュール等について事務局より連絡
副 座 長	7 閉会 閉会のあいさつ